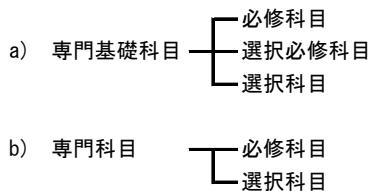


『2019年度入学生用』

[建築学部]まちづくり学科

School of Architecture
Department of Urban Design and Planning



■まちづくり学科 カリキュラムの編成

建築学部のカリキュラムは1・2年次と3・4年次に分かれている。1、2年次において、A群「総合教育科目」とB群「専門科目」a)専門基礎科目を学習することによって建築学の基礎的な諸分野を広く網羅的に学び、技術者として必要とされる基礎的教養科目と、建築技術者に必要とされプロフェッショナルとして備えるべき専門的知識の基礎を身につける。

1、2年次の教育により建築の多様性を早い段階で理解したうえで、3年次からは、より高度できめ細かな学科独自のカリキュラムを学びはじめる。3、4年次のB群「専門科目」b)専門科目は、建築技術者として必要とされる専門知識を学ぶ学科独自の専門科目群で、各学科、教育目標によって異なる応用的で多様な科目が細かく設定されている。これらは同時に、他学科とも相互に関連していることは留意しておいてほしい。

4年間の勉学の集大成として、自己学修能力を高め、社会での知識や技術の適用を確実にするために「卒業研究」を行う。「卒業研究」では、学生が自己の適性と将来の進路等を踏まえ、指導教員と相談の上で、「制作」または「論文」を行う。

■3年次科目履修条件、卒業研究着手条件および卒業条件

本学では、4年生までは在籍年数ごとに「学年は上がって」いく（在籍1年目は1年生、2年目は2年生、3年目は3年生、4年目は4年生となる）。これは修得単位数や、3年次科目履修条件・卒業研究着手条件の充足にかかわらない。ただし、3年生以上でも3年次科目履修条件を満たさねば3年次配当科目を履修できず、卒業研究着手条件を満たさなければ「卒業研究」を履修できない。これらの条件は3学科共通である。詳細は「履修規定と履修上の注意」を参照すること。

■まちづくり学科への配属について

建築学部では、3年次科目履修条件の充足・未充足や休学期間の有無などにかかわらず、在籍3年目に、各学科へ配属される。まちづくり学科に配属された学生は、以降、まちづくり学科のカリキュラムを学習する。学科配属手続きの詳細については、1、2年次に開催するガイダンスや説明会のほか、キーポートや掲示等で周知する。配属学科は本人の希望と成績により決定される。

なお、社会における専門分野の横断的な繋がりを踏まえた深化が生じることを踏まえ、研究室登録手続きを経て履修が決定する3年後期「建築セミナー」と4年通年「卒業研究」は、所属する学科に限ることなく、建築学部のすべての研究室を希望することができる。研究室登録手続きの詳細については、ガイダンスのほか、キーポートや掲示等で周知する。

建築学部まちづくり学科 専門科目

- ・○印は必修科目、△印は選択必修科目、□印は必履修科目、無印は選択科目
- ・「教職」欄に教科名・印が付してある科目は、教員免許状取得に必要な科目を示す。●印は必修科目、教科名のみは選択科目。
- 「高校一種(工業)」の免許取得希望者は上記以外に、他学科開講科目で教職必修科目があるため詳細は入学年度の「教職課程の手引」を確認すること。

1) 専門基礎科目〈第B群a)〉

授業科目	単位数および標準履修学年					授業形態	教職	学位授与の方針				備考
	第1学年		第2学年		第3学年	第4学年	計	1	2	3	4	
	2	2	2	2	2	2	2	○	◎			
【B群専門基礎科目】	建築入門	2					2	講義		○	◎	
	建築概論		2				2	講義	●工業	○	◎	
	○ 基礎設計・図法	2					2	演習	工業		◎	
	○ 建築設計I		2				2	演習	工業	○	◎	○
	○ 建築設計II			2			2	演習	工業	○	◎	○
	○ 建築設計III			2			2	演習	工業	○	◎	○
	○ 建築計画I		2				2	講義	工業	○	◎	
	○ 建築計画II			2			2	講義	工業	○	◎	
	○ 建築計画III			2			2	講義	工業	○	◎	
	○ 西洋建築史		2				2	講義	工業	○	◎	
	近代建築史			2			2	講義		○	◎	
	○ 日本建築史			2			2	講義	工業	○	◎	
	都市デザイン	2					2	講義	工業	○	◎	
	まちづくり論		2				2	講義	工業	○	◎	
	○ 都市計画			2			2	講義	工業	○	◎	
	ランドスケープデザイン			2			2	講義	工業	○	◎	
	○ 構造力学I	2					2	講義	工業	○	◎	○
	○ 構造力学II			2			2	講義	工業	○	◎	○
	構造力学演習I		1				1	演習	工業	○	◎	○
	構造力学演習II			1			1	演習		○	◎	○
	○ 建築の構造			2			2	講義	工業		◎	○
	○ 建築構法	2					2	講義	工業	○	◎	
	○ 建築材料		2				2	講義	工業	○	◎	
	○ 建築施工			2			2	講義	工業	○	◎	○
	○ 設備計画	2					2	講義	工業		◎	
	○ 環境工学I		2				2	講義	工業	○	◎	○
	○ 環境工学II			2			2	講義	工業	○	◎	○
	建築設備工学			2			2	講義			◎	
	○ 建築法規			2			2	講義	工業	○	◎	○
	△ 構造基礎実験		2				2	実習	工業	○	◎	
	△ 材料実験		2				2	実習	工業	○	○	○
	△ 環境基礎実験		2				2	実習	工業	○	◎	
	△ 測量実習		2				2	実習	工業	○	◎	○
	建築技術者の倫理			2			2	講義	工業		○	◎
	社会貢献学入門	2					2	講義		○	◎	○
	減災学入門		2	2	2	2	2	講義		○	◎	○

建築学部まちづくり学科 専門科目

- ・○印は必修科目、△印は選択必修科目、□印は必履修科目、無印は選択科目
- ・「教職」欄に教科名・印が付してある科目は、教員免許状取得に必要な科目を示す。●印は必修科目、教科名のみは選択科目。
- ・「高校一種(工業)」の免許取得希望者は上記以外に、他学科開講科目で教職必修科目があるため詳細は入学年度の「教職課程の手引」を確認すること。

2) 専門科目(第B群 b)

授 業 科 目			単位数および標準履修学年					授業形態	教職	学位授与の方針				備 考
			第1学年	第2学年	第3学年	第4学年	計			1	2	3	4	
【B群】	b) 共通科目	○ まちづくり演習			2		2	演習		○	○	◎	○	
		建築・まちづくり演習			3		3	演習			○	◎	○	
		建築総合演習				3	3	演習			○	◎	○	
		建築情報処理 I			2		2	演習			○	◎		
		建築情報処理 II			2		2	演習			○	◎		
		建築実務特別講義			2		2	講義	○	◎				
		建築セミナー			2		2	演習		○	◎	○		
		学外研修		2			2	実習			○	◎		
		イギリス留学まちづくり調査法			3		3	講義			○	○		
		イギリス留学建築計画			2		2	講義			○	○		
		イギリス留学建築デザインA			2		2	講義			○	○		
	専門科目	イギリス留学建築デザインB			3		3	講義			○	○		
		イギリス留学準備英語			1		1	演習			○	○		
		○ 卒業研究				8	8	卒研			○	◎	○	
		現代まちづくり論			2		2	講義		○	○			
		デザイン都市空間調査法		2			2	講義		○	○			
		都市交通計画			2		2	講義		○	○			
		まちづくり経済学			2		2	講義		○	○			
		ラーニングデザイン			2		2	講義		○	○			
		環境植栽学			2		2	講義		○	○			
		都市環境デザイン史			2		2	講義		○	○			
		緑地環境計画			2		2	講義		○	○			
		環境生態学				2	2	講義		○	○			
	安全・安心科目	地域の安全			2		2	講義			○			
		建築の安全		2			2	講義			○			
		地震工学		2			2	講義	工業	○	○	○	○	
		災害危機管理			2		2	講義			○	○		
		環境共生			2		2	講義		○	○	○	○	
	環境共生科目	建築環境計画			2		2	講義		○	○	○	○	
		地域住環境計画		2			2	講義		○	○	○	○	
		環境評価法			2		2	講義	工業	○	○	○	○	
		建築音響			2		2	講義			○			
		都市設備				2	2	講義		○	○		○	
		※ まちづくり職業指導				4	4	講義	●工業					※教員免許状取得に必要な科目であって、「卒業に必要な単位数」に算入することはできない。